

複言語VRで学ぶ人体構造

科目責任者 能 登 慶 和
学年・学期 1 学年・3 学期

I. 前 文

近年では様々なICTツールおよびVR/ARなどの技術を持ちいた学習が盛んになっている。本講義では、特殊な材料とアプリを用いて、ドイツ語、英語等の複数外国語を比較しながら、仮想的に人体構造を可視化してその基礎を学習する。

II. 担当教員

能 登 慶 和 (語学・人文教育部門)

III. 一般学習目標

1. 人体構造の基礎とその働きの概略を理解する。
2. 解剖学用語を外国語で理解し説明する。

IV. 学修の到達目標

1. 消化器に関する構造およびその働きを理解する。
2. 循環器に関する構造およびその働きを理解する。
3. 呼吸器に関する構造およびその働きを理解する。
4. 泌尿器に関する構造およびその働きを理解する。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1: 反転授業形式 (事前学習用動画等の教材を前もって配付する。原則として授業中に事前学習の内容に関する小テストを行い知識の確認を行う。))

2: ディスカッション 3: グループワーク 4: 実習 5: プレゼンテーション 6: その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブラーニング
1	11	17	水	3	消化器	能 登 慶 和	1
2		24	水	4	消化器		1
3	12	1	水	4	循環器		1
4		8	水	4	循環器		1
5		15	水	4	呼吸器		1
6	1	5	水	4	呼吸器		1
7		12	水	4	泌尿器		1

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

毎回の小テスト (3割), 定期試験 (6割), その他 (1割) から総合的に判定する。

Ⅶ. 教科書・参考書・AV資料

適宜プリントを配布する。

Ⅶ. 質問への対応方法

随時受け付ける。

Ⅸ. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	○
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題等については授業またはLMSを通じて適宜フィードバックを行う。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

必ず予習動画および資料で予習、また必要に応じてLMS等で復習を行うこと。

（※所要時間の目安については、シラバス別冊を参照すること）

XII. コアカリ記号・番号

D-5-1), D-6-1), D-7-1), D-8-1)